

愛称

いちご一会とちぎ国体

「いちご」の生産量が半世紀に渡って日本一の栃木県。「いちご王国」で行われる国体に参加するすべての人々が、県民の心のこもったさまざまなおもてなしに出会い、交流を深めることで新たな夢や感動が生まれることを目指します。

スローガン

夢を感動へ。感動を未来へ。

アスリートたちが夢に向かって突き進む姿は、大会に参加する全ての人に感動を与えます。その感動をレガシーとして、未来の人づくり、地域づくりにつなげていきたいという願いが込められています。

マスコット



いちご一会とちぎ国体マスコットキャラクター
「とちまるくん」

参加章・記念章

【参加章】



日光東照宮を代表する社寺の建築技術から発展した栃木県の伝統工芸品「鹿沼組子」をモチーフにデザイン。参加章には「七宝」、記念章には「積石亀甲」とそれぞれ縁起のいい文様を使用しています。

【記念章】



【規格】

大きさ：縦40mm×横40mm
厚 さ：5 mm
材 質：県産杉材

目 次

開始式

競技会開始宣言、選手代表宣誓	3
日本スポーツ協会あいさつ、スポーツ庁あいさつ	4
中央競技団体あいさつ、歓迎のことば(日光市長)	5
歓迎のことば(県議会議長)	6

表彰式

中央競技団体あいさつ	6
会場地あいさつ、競技会終了宣言	7

記録写真

開始式	8
スピード競技	10
ショートトラック競技	12
フィギュア競技	14
アイスホッケー競技	16
表彰式	18
カーリング	20
おもてなし	21
運営ボランティア	22
式典・競技会日程及び会場一覧、諸会議一覧	23
新型コロナウイルス感染症対策	24
環境配慮の取組	25
開催までの取組	26
制作物	28

式典

開始式・表彰式次第	30
開始式・表彰式参加にあたっての留意事項	31
開始式座席エリア図	33
表彰式座席エリア図	35

競技会場

各会場案内図	38
スピード競技会場図	40
ショートトラック競技会場図	42
フィギュア競技会場図	43
アイスホッケー競技会場図	44

競技記録

都道府県別総合成績一覧表	48
--------------	----

スケート競技会

スケート競技会総合成績一覧表	50
スピード競技日程	52
スピード競技入賞者	55
スピード競技気象公式記録	56
ショートトラック競技日程	58
ショートトラック競技入賞者	60
フィギュア競技日程	61
フィギュア競技入賞者	62

目 次

アイスホッケー競技会

アイスホッケー競技会総合成績一覧表	64
アイスホッケー競技最終結果(成年)	65
アイスホッケー競技得点表(成年)	66
アイスホッケー競技最終結果(少年)	68
アイスホッケー競技得点表(少年)	69

役員

大会役員編成基準	72
大会役員	73
スケート競技会役員編成基準	76
スケート競技会役員	77
アイスホッケー競技会役員編成基準	79
アイスホッケー競技会役員	80
招待者の範囲	82
スピード競技役員	83
ショートトラック競技役員	84
フィギュア競技役員	85
アイスホッケー競技役員	86

資料

参加人員一覧表	88
大会参加者数	90
開催基本方針	92
冬季大会実施本部組織図	93
栃木県実行委員会名簿	94
栃木県実行委員会会則	96
栃木県実行委員会事務局規程	101
日光市実行委員会名簿	107
日光市実行委員会会則	108
日光市実行委員会事務局規程	113
報道委員会規程	119
報道委員会名簿	121
取材協定	122
競技団体からの取材に対する要望及び連絡事項	125
宿泊要項	129
配宿・弁当調達実績	134
輸送交通要項	135
輸送交通実績	137
医療救護要項	138
医療救護実績	139
大会協力者	140
国体チャンネル視聴実績	142
開催経過概要	143
新型コロナウイルス感染症 感染防止対策	145



栃木県知事 福田 富一

全国各地から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を開催できますことは大変光栄であり、栃木県民を代表して心から歓迎いたします。

栃木県実行委員会では、安全・安心な競技会の開催を目指し、日本スポーツ協会、文部科学省、日光市実行委員会、関係競技団体とともに、感染防止対策に万全を期すため、県版感染防止対策ガイドラインの策定や一般観覧者の入場制限などあらゆる対策を検討し、準備を進めて参りました。このような中、大会が開催できますことは、多くの皆様の御支援と御協力があるものであり、大変意義深いものであると考えております。

本県での冬季大会の開催は、「第69回ひかりの郷 日光国体」以来8年ぶり9回目となります。さらに本年10月には国体本大会、全国障害者スポーツ大会の開催を控え、栃木県にとってはまさに「国体・障スポ」イヤーの幕開けの大会となります。大会共通のスローガンである「夢を感動へ。感動を未来へ。」には、「アスリートたちの夢に向かって突き進む姿が感動を呼び、その感動をレガシーとして輝かしい未来につなげていきたい」という願いを込めました。また、「環境に配慮した」大会の実現を目指し、再生可能エネルギーの活用やエコ素材のユニフォーム、紙媒体の電子化など、様々な取組を実施して参ります。選手の皆様には感染防止対策に御協力をいただきつつ、積み重ねてきた鍛錬とたゆまぬ努力が結実することを願っております。そして今大会を通して、スケート競技およびアイスホッケー競技の魅力を栃木県・日光の地から全国に発信し、冬季競技の更なる普及につながることを期待しております。

今大会の開催にあたりまして、多くの御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、冬季競技の益々の発展をお祈りし、ここに第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開会を宣言します。



選手代表宣誓

令和4年1月24日

選手代表 栃木県 篠原侑愛、鈴木章史

宣誓。私たち選手一同は「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンの下、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の皮切りとして行われる冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会において、この大会の開催に向けて関わってくださった多くの方々に感謝し、郷土代表としての誇りと練習の成果を発揮し、明るい未来に向けて全国の皆さまに夢と感動を届ける大会とすることを誓います。



日本スポーツ協会あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会会長 伊藤 雅俊

このたびの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な困難が生じているすべての皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ、このような状況の中で、社会のために最前線でご尽力されている方々に、改めて深く感謝申し上げます。

本日から、第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を、多くの歴史的文化遺産や自然の美しさを有するここ栃木県において開催いたします。栃木県における冬季国体の開催は平成26年の第69回大会以来、8年ぶり9回目となります。さらに本年10月1日からは第77回国民体育大会本大会を開催し、同一年に冬季大会と本大会が初めて開かれることとなります。今大会は「いちご一会とちぎ国体」の愛称のもと、コロナ禍で大変な今、栃木県の皆さんが東京2020大会後、スポーツの力を発信し、我が国のスポーツ機運を高めたいという想いで、感染拡大防止対策に万全を尽くされた大会です。栄えある郷土の代表として参加される選手の皆さんには、栃木県民の皆さんの想いを感じながら、フェアプレー精神のもと、日頃鍛え抜かれた力と技を存分に発揮し、新たな歴史を刻まれるとともに、多くの方々との交流の輪を広げ、実り多い大会となるよう切望いたします。来月からは中国・北京で第24回オリンピック冬季競技大会が開催され、国内でもウインタースポーツに対する注目が高まっております。この冬季国体を通じて、多くの国民の皆さんにスポーツの素晴らしさ、ウインタースポーツの魅力を実感いただき、今後一人でも多くの国体選手がオリンピックに出場されることを願っております。

結びに、冬季国体の開催地選定が難しい状況の中、開催を快くお引き受けくださいました栃木県はもとより、競技会場地である日光市、施設の改修、整備などに多大なご支援を賜りました日本スポーツ振興センターをはじめとする多くのご関係の方々のご理解とご尽力に対しまして、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念申し上げ、あいさついたします。



スポーツ庁あいさつ

スポーツ庁長官 室伏 広治

「日光国立公園」などの雄大な自然と、世界遺産である「日光の社寺」に代表される歴史と文化が調和するまち、ここ栃木県日光市において、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」冬季大会スケート競技会及びアイスホッケー競技会が開催されるにあたり、一言御挨拶申し上げます。

まず始めに、新型コロナウイルス感染症による影響がある中、感染症対策をはじめ、本大会の開催に御尽力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

国民体育大会は、これまで競技力の向上はもとより、広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図るとともに、地域スポーツ推進と地域文化の発展に寄与することを目的として開催され、明るく豊かで活力に満ちた国民生活の構築に貢献してまいりました。とりわけ冬季大会は、我が国におけるウインタースポーツの普及・発展に大きな役割を果たしてきたところ です。

中国・北京で開催されるオリンピック・パラリンピック冬季競技大会が間近に迫り、国民のウインタースポーツへの関心が一層高まっています。そうした中、本大会の「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと、全国から集う選手たちが銀盤の上で、美しさ、速さ、強さを競い合うことで、スポーツが持つ力やすばらしさが国民に夢と感動をもたらし、ウインタースポーツの更なる発展に寄与するものと確信しております。

選手の皆さんにおかれましては、これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮され、本大会が皆様方にとって心に残る大会となりますよう願っております。

結びに、大会開催にあたり御尽力いただきました地元栃木県及び日光市をはじめ関係の皆様方の御支援・御協力に対し、心からの感謝の意を表しまして、挨拶いたします。



中央競技団体あいさつ

公益財団法人日本スケート連盟専務理事 天野 好人

第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、いちご一会とちぎ国体「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンにここ栃木県日光市で開催されますことを心よりお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、このような状況下において本大会が開催されますのは地元の皆さんの国体に対するご理解とご協力があることと深く感謝申し上げます。

昨年開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、日本選手の活躍に、多くの国民の皆さんがスポーツの持つ力に感動したと思います。オリンピックムーブメントが形成されましたことは、国体開催の趣旨にあたるスポーツ活動の振興促進に大きくつながっていくものと考えます。2月にはいよいよ中国・北京で冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。国民の皆さんにスポーツの夢と希望をお届けできるよう、選手一丸となって頑張っていくことと思います。本大会に参加する選手の皆さんは感染症のためトレーニングや日常生活などさまざまな面で制限され、本当に大きな影響がありました。未来を信じ、自分を信じ、それぞれの目標に向かって着実に努力を重ねたものと思います。選手の皆さんには日ごろの練習の成果を十分に発揮し、大いに活躍されますことを期待します。

結びに、本大会開催にあたりご尽力をいただいた日本スポーツ協会、栃木県、日光市、栃木県スケート連盟、関係の皆様に深く感謝を申し上げご挨拶とさせていただきます。



歓迎のことば

栃木県日光市長 粉川 昭一

第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会がここ日光市で開催されますことは誠に喜ばしく、心より歓迎申し上げます。日光市での冬季国体の開催は平成26年の第69回「ひかりの郷 日光国体」以来、8年ぶり9回目となります。本市において冬季スポーツの普及発展の絶好の機会として、誠に意義深いものであります。

本大会の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により、安全で安心な大会開催に向け、感染症防止対策や運営方法の見直しなど、栃木県実行委員会や各競技団体をはじめ多くの皆さまのご指導を踏まえ、準備を進めてまいりました。いろいろと制約が多く、選手の皆さまにはご不便をおかけすることもあると思いますが、大会を実行するための措置としてご理解いただけるようお願いいたします。選手の皆さまにおかれましてはコロナ禍の中、練習や調整にご苦労されたものと思いますが、郷土の期待と栄光を担い、日ごろ鍛えた技と力を十分に発揮され、悔いのないよう全力を尽くしてください。そして本大会のスローガン「夢を感動へ、感動を未来へ」にあるように、競技を通じて、子どもたちに困難に打ち勝つことで夢と感動を与え、希望する未来とすることをスポーツの力で届けていただけることを期待します。また四季折々の美しい雄大な自然と、歴史ある日光市の魅力に触れ、再び本市に訪れていただければ幸いです。

結びに、本大会開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆さまに心より感謝を申し上げ、歓迎の言葉といたします。



歓迎のことば

栃木県議会議員 阿部 寿一

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が、ここ栃木県で開催されますことをお慶び申し上げます。また全国各地から大勢の選手、役員、関係者の皆さまにお越しいただきまして、栃木県議会を代表し心から歓迎申し上げます。

国体冬季大会が本県で開催されますのは、平成26年の「ひかりの郷 日光国体」以来、8年ぶりとなります。来る10月には、国体本大会及び全国障害者スポーツ大会も本県で開催されます。この冬季大会が、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の幕開けにふさわしい、様々なスポーツの魅力と感動を発信する素晴らしい大会となるよう、感染防止対策を含め、県を挙げて皆さまをお迎えする準備を進めてまいりました。

選手の皆さまにおかれましては「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンの下、これまでに培った技と力を存分に発揮されますとともに、大会に集う全ての方々が全国の仲間と交流を深め、夢と感動を未来へ広げていただき、本大会が実りある、思い出深いものとなるよう心より願っています。

また今回の来県を機に、豊かな自然や風土、世界文化遺産の日光の社寺など歴史遺産や伝統文化、生産量日本一のイチゴをはじめとした食、県民の心のこもったおもてなしなど、栃木県の多彩な魅力に触れていただき、一人でも多くの方に栃木ファンになっていただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にあたりまして多大なご尽力を賜りました関係の皆さまに心から感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功を祈念申し上げまして歓迎の言葉といたします。



表彰式

中央競技団体あいさつ

1月30日に行われたアイスホッケー競技会表彰式の内容を掲載しています。

公益財団法人日本アイスホッケー連盟会長 水野 明久

皆さまお疲れ様です。この大会は全国でオミクロン株が猛威を振るう中で開催されました。万全の感染対策のもと、無事に終了できましたことは本当に選手、チームスタッフはもちろんですが、栃木県、日光市、栃木県アイスホッケー連盟、関係者の皆さま、すべての皆さまの努力の賜物だと思います。深く感謝を申し上げます。

国体は全国にアイスホッケーを普及し、全国でアイスホッケーを楽しむ方が目標とする大会であります。今日、ここに優秀な成績でお残りになられた方も、すでにお帰りになられたチームも含めて、地元に戻られましたらさらにアイスホッケーの普及に尽力していただきますよう、心から願うものであります。

さて、来週から北京オリンピックが始まります。2月3日、スマイルジャパンが初戦を迎えます。スウェーデンが相手であります。女子のアイスホッケーは、これまでオリンピックに3大会出場しております。今回、上位を目指してぜひ頑張っていたきたいと思います。冬季スポーツといいますと大半は個人競技になっておりますけれども、アイスホッケーは数少ない団体競技、チームスポーツといえると思います。チームスポーツであるがゆえに、非常に盛り上がるものだと思っています。ぜひ皆さま、皆さまのお友達の方々に、力強い応援をお願いしたいと思っています。

最後になりますが、重ねて関係者、関係団体の皆さま、本当に神経を使った特別な大会をここまでやっていただきましたことに、改めて御礼を申し上げまして私のあいさつといたします。どうもありがとうございました。



会場地あいさつ

栃木県日光市長 粉川 昭一

第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会の閉会にあたり、会場地を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

全国各地から日光市にお越しいただいた選手、監督をはじめとした大会関係者の皆さま、5日間にわたり大変お疲れさまでございました。また、先ほど表彰を受けられました各都道府県の皆さま、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げますとともに、皆さま方の不断の努力の結果によるものと敬意を表します。

今回の大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、会場地として競技に集中できる安全で安心な大会にするために、かかわったすべての皆さまに健康管理をはじめとするさまざまなご協力をいただくなど、感染防止対策を強化した開催となりました。それにより、いろいろと制約が多く、選手の皆さまにはご不便をおかけいたしました。選手、監督をはじめ大会関係者の皆さまのご理解、ご協力により、本日を迎えることができました。誠にありがとうございました。このような中におきましても各会場では熱戦が繰り広げられ、本大会のスローガン「夢を感動へ。感動を未来へ。」の通り、選手の全力で競技に臨む姿はウェブ配信を通じ、未来を担う全国の子供たちに夢と感動を届けられたことと思います。

本日のアイスホッケー競技会の表彰式をもって、いちご一会とちぎ国体冬季大会の幕が下りますが、本年10月には、いちご一会とちぎ国体本大会が開催されます。冬季大会で得られたたくさんの感動も本大会へつながることと思います。また皆さまには、コロナ禍が落ち着いた機会にまた日光市に訪れていただき、豊かな自然、世界に誇る文化遺産、産業遺産など、四季折々の日光市の魅力を体験していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、ご指導、ご協力、またご尽力を賜った関係団体、関係者の皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、参加された皆さまの今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、会場地のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



競技会終了宣言

栃木県教育委員会教育長 荒川 政利

「夢を感動へ。感動を未来へ。」というスローガンのもと、5日間にわたり開催されました、「いちご一会とちぎ国体」冬季大会アイスホッケー競技会は、本日全ての日程が無事終了いたしました。

コロナ禍の影響で、ここに至るまで感染対策やコンディションづくりに大変な御苦労があったと思いますが、各都道府県の代表として選手の皆様が繰り広げられました熱戦は、郷土の方々に大きな夢と感動を与えたことでしょう。その夢と感動は私たちを明るい未来へ導いてくれると確信しております。

大会開催に御尽力いただきました国並びに関係各位に心から敬意を表しますとともに、選手の皆様の今後益々の御活躍を祈念申し上げまして、ここに第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会の終了を宣言いたします。



開 始 式

歓迎アトラクション



開始式

式典





スケート(スピード)



成年男子500m



成年男子2000mリレー



成年男子1500m



少年男子1500m



少年男子500m



成年男子500m表彰式



少年男子500m表彰式



少年女子2000mリレー



成年女子1500m



成年女子500m



成年女子1000m



少年女子2000mリレー表彰式



成年女子500m表彰式



スケート(ショートトラック)



成年女子500m



成年女子1000m



少年女子500m



成年女子500m表彰式



成年女子500m表彰式



成年男子1000m



少年男子500m



少年男子1000m



成年男子5000mリレー



成年男子1000m表彰式



成年男子5000mリレー表彰式



スケート(フィギュア)



成年男子ショートプログラム



成年男子フリースケーティング



成年男子ショートプログラム



成年男子ショートプログラム



成年男子フリースケーティング





少年女子ショートプログラム



少年女子フリースケーティング



少年女子ショートプログラム



成年女子ショートプログラム



成年女子ショートプログラム



成年女子フリースケーティング



アイスホッケー



成年男子1回戦 広島県-栃木県



成年男子1回戦 広島県-栃木県



成年男子1回戦 広島県-栃木県



成年男子2回戦 岡山県-栃木県



成年男子2回戦 岡山県-栃木県



成年男子2回戦 岡山県-栃木県



成年男子準々決勝 栃木県-埼玉県



成年男子準々決勝 栃木県-埼玉県



成年男子準々決勝 栃木県-埼玉県



成年男子5位決定戦 栃木県-神奈川県



成年男子5位決定戦 表彰式





男女総合成績1位～8位の表彰状を掲げる各都道府県選手団



男女総合成績・女子総合成績ともに1位を獲得した長野県



栃木県は男女総合成績6位・女子総合成績10位



女子総合成績1位～8位の表彰状を掲げる各都道府県選手団



日本スケート連盟 天野好人専務理事によるあいさつ



日光市 粉川昭一市長によるあいさつ

表彰式

アイスホッケー競技会



総合成績1位～8位の表彰状を掲げる各都道府県選手団



1位を獲得した北海道



栃木県は7位を獲得



日本アイスホッケー連盟 水野明久会長によるあいさつ



栃木県教育委員会 荒川政利教育長による競技会終了宣言

カーリング(デモンストレーションスポーツ)

2022年2月27日に細尾ドームリンクにおいて、カーリング競技会が行われました。
参加者は基本的なレクチャーを受けた後、チームを組んでミニゲームを楽しみました。
終了後、参加者には参加証が渡されました。

